

第2回 実施レポート

公共建築の施工プロセスに触れられる現場見学会

実施日：令和6年6月29日（土）



現場見学会 全5回（予定）

第1回 外構工事1

第2回 基礎工事

- ① 保育園事業の概要
- ② 第1回のおさらい
- ③-1 地盤改良について
-2 基礎工事について
- ④ 現場見学

第3回 木造建て方工事

第4回 内外装工事

第5回 外構工事2・完成

「とよはし公共建築学生チャレンジコンペティション（令和4年度）」に全国から応募のあった114組の提案から選ばれたアイデア“風土の中のさんぼミチ”。これをコンセプトとして、本つつじが丘保育園（仮称）は設計されました。令和6年1月に工事に着手し、現在施工中です。木の温もりにあふれ、四季の変化を感じられる、子どもたちの自発性を育む保育環境をカタチにします。

市役所建築課の仕事は、事業の企画・計画、設計や工事の発注およびその監理と様々です。行政をハード面から進める数少ない課であり、やりがいをもって働いています。その様子を見学会でちょっとだけ覗いてみませんか？

第2回 ダイジェスト

③-1 地盤改良について

必要な地盤強度確保のため地質調査を行い、長さ6mのパイプを900本打ち込む地盤改良の工法を選定しました。施工前に提出された計画書のとおり施工されている様子と品質管理の方法を紹介しました。

③-2 基礎工事

工事監理指針と照らし合わせ、鉄筋同士の接続方法やコンクリートのかぶり厚さなどの確認事項を説明しました。施工にあたり、床下に敷設する水道やガスの配管、電気配線等のルートに記載した配管図と建築の基礎図を重ねた総合図で、お互いに干渉がないことを確認します。

④ 現場見学

鉄筋の間隔やコンクリートのかぶり厚さが確保されていること、鉄筋の重なり寸法等を確認しました。床下の空間に設備配管が干渉しないようルート取りされている様子が見えましたか？



施工者（管工事）：
三河設備工業(株) 坂井さん

ベタ基礎から飛び出ている黒い管は電気配線用の配管です。コンクリート打設の前に配管を埋めておかないと、後で電線を通すことができません。

施工者（電気工事）：(株)影山電機商会 菅野さん

ベタ基礎が地面より低いいため、地下水が入らないよう給水管や排水管を通すスリーブには止水処理を行います。

施工者（管工事）：三河設備工業(株) 坂井さん

南北方向に約1mの高低差のある敷地で、隣接する公園に圧迫感を与えないように建物の基礎を設計する必要がありました。設備の配管が露出しないよう現場の方々と相談し、うまく納めることが現場監理の大きな仕事です。

設計・監理者：(株)藤川原設計 大鹿さん



設計・監理者：
(株)藤川原設計 大鹿さん



建築計画提案者：
名古屋工業大 永井さん

設計意図を反映するため、埋設配管や基礎の計画が組まれていることが非常によくわかりました。また、図面と現場を見比べながら説明を聞くことができ、設計から施工までの流れを理解することができました。

次回は建方工事！いよいよ建物の形が見えてきます！